

第39回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会開催要項 (兼 第62回国民体育大会アーチェリー競技リハーサル大会)

1. 主催 社団法人 全日本アーチェリー連盟
北秋田市・北秋田市教育委員会・秋田わか杉国体北秋田市実行委員会
2. 主管 秋田県アーチェリー協会
3. 後援 秋田県・秋田わか杉国体実行委員会・秋田県教育委員会・(財)秋田県体育協会
(財)北秋田市体育協会
4. 日時 平成18年 6月10日(土)～11日(日)

6月10日(土)	12:00～12:30	受付・弓具検査・練習場開設
	12:35～12:50	開会式
	13:00～13:40	公式練習(指定標的を使用)
	13:50～17:00	競技・予選ラウンド(70m 72射)
6月11日(日)	8:00～	開場
	8:30～ 8:40	練習
	8:50～15:30	競技(決勝ラウンド)
	16:00～	表彰式・閉会式

※進行状況により時間の変更がある

5. 会場 北秋田市阿仁吉田特設アーチェリー競技場
〒018-4601
秋田県北秋田市阿仁吉田字上野道下36
TEL 0186-60-1601 FAX 0186-60-1604
6. 競技方法 オリピック・ラウンド (予選は70mラウンド、全選手決勝ラウンドへ進出)
7. 競技規則 2004～2005年度 (社)全日本アーチェリー連盟競技規則による。
8. 競技種目、参加定員および表彰

部 門	種 別	定 員	表 彰	部 門	種 別	定 員	表 彰
リカーブ 部 門	壮年男子の部	16名	1～3位	コンパウンド 部 門	一般男子の部	16名	1～3位
	一般男子の部	44名	1～8位		一般女子の部	4名	1位
	一般女子の部	28名	1～8位				

※壮年男子の部は平成18年4月2日に満40歳以上のものとする。

9. 参加資格

- 平成18年度(社)全日本アーチェリー連盟に登録済みの者。
*平成18年度の登録第一次締切日は5月10日。それまでに登録が完了していないと失格となる。
- シルバーパッチ(1100点)以上を取得していること。
- 高校生、大学生、及び専門学校生以外の者で、平成18年4月2日に満18歳以上の者。

- ④11項の選考対象期間内に開催された全日本アーチェリー連盟公認競技において下記の得点以上の記録を1回以上有する者。

R C			C P	
壮年男子	一般男子	一般女子	一般男子	一般女子
1150点	1150点	1150点	1240点	1210点

10. 選考方法

- ①前回大会(第38回社会人)各部門優勝者。
- ②申請得点の上位者から選考する。ただし得点が同点の場合、全日本選手権大会、地区大会、都道府県大会の順で優先順位を決定し選考する。それでも決定しない場合は、選考委員の抽選により決定する。
- ③地元推薦者の人数については(社)全日本アーチェリー連盟競技部と主管団体とが協議して決定する。
- ④本大会出場申請記録の対象となる記録会の公認申請・成績報告が正規の手続きで処理されていない場合、出場は認められない。

11. 選考対象期間 平成17年 5月 2日(月)から平成18年 5月 11日(木)までとする。

12. 参加費 6,000円

13. 申込方法

- ①前記の資格を有する者は、別紙「出場資格申請書」に必要事項を記入し、加盟団体から「出場資格申請統括表」を添えて、一括して申し込むこと(選考後の辞退は原則できない)。
※緊急事態により欠場する場合は、理由を明記した欠場届を加盟団体経由で(社)全日本アーチェリー連盟に提出すること。この場合参加費等の返金はしない。

申込期日 平成18年 5月 12日(金) 必着

- ②出場決定者は選考結果通知後1週間以内に、加盟団体より一括して下記口座に送金し、同時に納付書(コピー可)を連盟事務局に送付する。

【(社)全日本アーチェリー連盟】

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内4階 (社)全日本アーチェリー連盟事務局宛

TEL:03-3481-2402 FAX:03-3481-2403

【参加費振込先】

銀行口座番号 みずほ銀行渋谷支店 普通口座 79992

郵便振替 00140-0-30048 名義 (社)全日本アーチェリー連盟

14. 宿泊場所

宿泊施設・弁当の手配申込は出場決定連絡時に案内する。

15. その他【注意事項】

- ①選手は(社)全日本アーチェリー連盟会員証、ならびにTバッチを持参し、常に携帯すること。
- ②公式練習時の服装は試合時用のものを着用すること。
- ③本大会申込期日近くに開催した公競技会の得点記録を本大会の申請得点とした場合に郵送では間に合わない時は、出場資格申請書に公認競技成績報告書を添えてFAXで全ア連に(仮)申請すると同時に正式な書類を必ず郵送すること。
- ④車椅子等の選手は出場資格申請書の欄にその旨を記入のこと。なお、矢取り代行が必要な選手は各自で用意すること。
- ⑤会場内には身体障害者用トイレは設置しない。

16. 選手の心構え

- ①選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。
(JOCによる日本選手団編成方針抜粋)
- ②ドーピング検査への対応
選手は、競技会前7日間に服用した医薬品(処方薬・売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と量を記したメモを携行することが勧められる。